

仰木の里学区 自主防災会だより

2025年
7月号
VOL.12

ご挨拶



仰木の里学区自主防災会 会長 津原 士郎

仰木の里学区のみなさん、いつも自主防災活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。昨年の2防災部(湖都が丘、北雄琴)に続き、本年度より里東一丁目が学区自主防災会に加盟いただき、21防災部になりました。力を合わせて災害に負けないまちづくりを共に推進していきます。

令和7年度本部役員・ブロック本部役員

会長	津原 士郎 (中央)	副会長	松本 清 (中央)	新道 正宏 (東7)
事務局	事務局長: 松田 八郎 (衣川台)		事務局次長: 山崎 悟 (レイクウエスト)	
	事務局員	杉田さと子 (山の下)	稲垣 司郎 (山の下)	
会計	松本 利寛 (中央)	会計監査	織戸 英信 (衣川台)	松本 進吾 (東5)
要支援者担当役員	社会福祉協議会会長: 松村 裕雄 (東山)		民生・児童委員協議会会長: 安井 稔浩 (仰木台)	
顧問	兵頭 諱 (中央)	田中 隆 (中央)		

	里ブロック			里東ブロック		
ブロック長	正 松本 清 (中央)	副		正 新道 正宏 (東7)	副	
事務局員	正	副		正	副	
情報連絡部長	正 前田 朗 (里西)	副 佐々木 喜久子 (里北)		正 天川 博之 (里南)	副	
消火部長	正 五十嵐 源三 (里西)	副		正 宇佐美 晃 (衣川台)	副	
救出救護部長	正 牧 宏久 (中央)	副 吉田 忠弘 (里北)		正 喜多 茂 (東2)	副	
給食給水部長	正 中橋 真弓 (中央)	副 高橋アキ枝 (ヴェルディール)		正 松本 利恵 (東5)	副 皆川 香織 (里南)	

※ ブロック本部役員として防災活動に力を貸して頂ける方を募集しています。
ご協力頂ける方は、会長津原(090-4649-0401)、事務局松田(080-2675-5185)まで連絡をお願いします。

令和7年度行事予定

	項目	対象	開催	内容	備考
研修会	防災部長研修会	防災部長 副部長	年2回	自主防災部活動のすすめ方	自主防災会本部
	本部役員研修会	本部・ブロック役員 防災士	年2回	地区防災計画推進に向けた 研修の実施	自主防災会本部
講演会	防災講演会	全住民	1月25日(日)	南海トラフ地震について	彦根気象台職員
発災時体制 確立	学区発災時体制 調整会議	支所・小中高校 まち協・自主防	7月	発災時体制に係る 関係者・役員の調整会議	自主防災会 まち協
防災訓練	自主防災部訓練	各自主防災部住民	各防災部 年1回	訓練計画の立案・実施	消防署・分団 自主防災会本部 防災士
	災害時を想定した 給食訓練	里ブロック本部	年1回	かまどベンチによる炊出し訓練	
	避難所運営訓練	仰木の里小学校	9月	学区関係機関・団体による 避難所開設手順の確認	
	学区総合防災訓練	里東ブロック全住民	11月9日(日)	里東ブロックの総合的訓練実施	
児童 防災教育	防災教室	幼・保育園児 小・中学生	各1回	児童防災知識の向上	自主防災会
	防災 ふれあいイベント	子ども・高齢者	四半期毎	ふれあいの場を通じて 共助意識の高揚をはかる	自主防災会
広報活動	広報紙の発行	全住民	年2回	事業計画の実施状況の報告 住民の意見・要望の反映等	本部事務局
資機材管理	備品・備蓄品の拡充 及び使用方法の研修	学区内	通年	発電機・無線機等取扱い研修の実施 備蓄品・防災倉庫の維持管理	自主防災会

お部屋の「安全空間」は作っていますか？

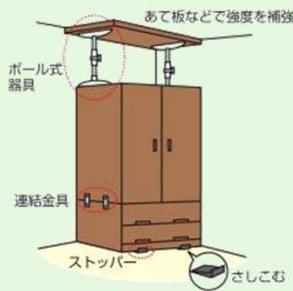
家の耐震性がバッチリでも安心は禁物

平成7（1995）年に発生した阪神・淡路大震災や、平成28（2016）年の熊本地震などで、多くの人が倒れてきた家具の下敷きになり、尊い命を失ったり、大ケガをしたりしました。「大地震では、家具は必ず倒れるもの」と考えて、日頃から家具の固定や配置の見直しで「安全空間」を作っておきましょう。

家具の固定

タンス

ポール式器具はタンスの奥の方（壁側）で、天井や家具の硬いところに取り付けます。また、天井側だけでなく床の側もストッパーなどで固定し、上下に分かれている家具は連結しておきましょう。



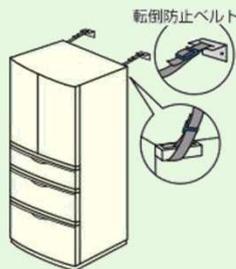
食器棚

食器棚の本体はタンスと同じように金具などを用いて固定します。また、開き戸が開かないようにとめ金を付けたり、ガラス部分にガラス飛散防止フィルムを張ったりして、ガラスや食器が凶器にならないよう工夫しましょう。



冷蔵庫

主なメーカーの冷蔵庫の後ろ側の上には、ベルトの取付口や取っ手があります。そこに転倒防止用ベルトを通して、ベルトの端を壁の下地材があるところに金具などで固定しましょう。



電子レンジ・オーブン

まずは、電子レンジ・オーブンを置いている台を壁または床に固定します。その上で、電子レンジ・オーブンと台とを粘着マットやストラップなどを使って固定しましょう。



テレビ・パソコン

テレビの取扱説明書に転倒防止方法についての説明がある場合は、それに従いましょう。テレビをテレビ台に固定するには、粘着マットやストラップ式の固定器具などを使う方法があります。テレビを壁などに固定するには、ベルト式器具やヒートンとロープを組み合わせる方法があります。



※東京消防庁「家具類の転倒・落下防止対策ハンドブック」を参考に作成

家具の配置

家具を置かない

寝室や子ども部屋など、家族やお子さんが長時間を過ごす部屋には、できるだけ家具を置かないようにしたり、背の低い家具だけを置くようにしたりして、工夫しましょう。

家具の向きと配置

万が一家具が倒れてきたときに、寝ている人や、座っている人に家具が直撃しないように、また、出入り口をふさいでしまわないように、家具の向きや、配置を工夫しましょう。

内閣府ホームページ「みんなで減災（減災啓発ツール）」から引用

自主防災会ホームページ

各種行事案内や防災役員向けの資料などを掲載していますので是非ご覧ください。

<http://oginosatojishubo.com/>

